

011109 その他 の非鉄 金属製 造業																					1	1		
0111 非鉄金 属製造 業			1																			1	2	
011201 洋食 器・刃 物製造 業																								
011202 ねじ等 製造業																								
011203 金属プ レス製 品製造 業					1																		1	
011204 めっき 業																								
011209 その他 の金属 製品製 造業			1		2		2	3	3		2	1	1	3	1	5		1	2	1	1	2	1	32
0112 金属製 品製造 業			1		3		2	3	3		2	1	1	3	1	5		1	2	1	1	2	1	33
011301 機械 (精密 機械を 除く)			2		4		3	3	1	4			1		3	4	4		4		1	2	36	

0201 石炭鉱業				1																	1			
020201 採石業		7		3		2	1	2	2	2	2	1		2	1	1	3	1	1		1	1	33	
020202 砂利採取業			1			1	1								1		1	1	1			1	8	
020209 その他の土石採取業												1											1	
0202 土石採取業		8		3		3	2	2	2	2	2	1	1	2	2	1	4	2	2		1	2	42	
020301 金属鉱業																								
020302 石油等鉱業													1										1	
020309 その他の鉱業 －その他						1				1			1					1	1				5	
0203 その他の鉱業						1				1			2					1	1				6	
02 鉱業		8		4		4	2	2	2	3	2	1	1	4	2	1	4	2	3	1	1	2	49	
030101 水力発電所等建設工事業			3		3		2			2	1	1	1	2	1		1	1			1		19	
030102 トンネル建設工事業			19		15		9	8	7	9	7	6	9	6	4	6	2	11	9	6	3	10	4	150

0303 その他の建設業			36		27		42	23	23	32	27	27	27	30	25	20	20	15	19	17	18	19	18	465
03 建設業			338		294		308	258	241	247	220	216	237	236	216	215	153	162	135	139	132	125	143	4,015
040101 鉄道・軌道業								1	1		1				1		1		2	1	1		2	11
040102 水運業															1							1		2
040103 航空業							1																	1
0401 鉄道・軌道・水運・航空業							1	1	1		1				2		1		2	1	1	1	2	14
040201 ハイヤー・タクシー業																								
040202 バス業											1													1
040209 その他の道路旅客運送業																								
0402 道路旅客運送業											1													1
040301 一般貨物自動車運送業			7		7		2	13	12	5	7	6	9	7	4	8	4	5	3	7	1	6	3	116

その他の接客 娯楽業		14		2		12	4	7	2	9	4	7	7	8	8	3	8		3	4		5	107
14 接客 娯楽業		15		2		13	4	7	2	9	4	8	8	11	9	3	9		3	4		5	116
150101 ビルメン テナンス業		2				3	3	2				1	1	1			1					1	15
150102 産業廃 棄物処 理業		11		10		13	15	9	11	9	8	5	14	12	7	5	2	6	3	3	4	3	150
150103 その他 の廃棄 物処理 業		1		3			2	1	3	1	4	1	2	7	2	3	2				1	1	34
150104 火葬業																							
150105 と畜業																							
150109 その他 の清 掃・と 畜業		4		2		2		3	2	3		1	4	1			1	1				1	25
1501 清掃・ と畜業		18		15		18	20	15	16	13	12	8	21	21	9	8	5	7	4	3	5	6	224
15 清 掃・と 畜業		18		15		18	20	15	16	13	12	8	21	21	9	8	5	7	4	3	5	6	224
160101 官公署																				1			1
1601 官公署																				1			1
16 官公 署																				1			1

2012	2	14	被災者は凍結防止剤散布機付き除雪トラックのホッパー上で、凍結防止剤を積み込む作業を行っていた。積み込み作業を終え、ホッパーから荷台上に降り、トラックに据え付けられた昇降設備を使って地面に降りるため、荷台上を移動していたところ、足を滑らせ、約2m下の地面に墜落し、首を骨折し、入院先の病院で死亡した。	30199	1	10 ～ 29
2012	7	18 ～ 19	コンクリート打設作業を終了し、コンクリートポンプ車の生コンクリート投入ホッパー部分の洗浄作業を行っていたところ、当該ホッパー内のスクリュウ状のローターに上半身を巻き込まれた。	30201	7	10 ～ 29
2012	2	13 ～ 14	建築物の解体工事に伴って発生した廃棄物の堆積場において、廃棄物をダンプトラックに積み込みするため、フォーク（物を掴むためのアタッチメント）を装着した油圧ショベルを旋回させたところ、旋回体の後部が被災者に激突した。	30309	6	30 ～ 49
2012	12	1 ～ 2	線路下部を跨いで水路を設置するため、非開削工法（HEP&JES）にて施工していた。粘土質の地層に当たり推進機械が動かなくなり、手掘り掘削に変更しようと、推進機械を引き抜くためにエレメントと推進機械にチェーンロックを掛け、被災者がその間で合図作業をしていたところ、引っ張っていた推進機械が2m程度急に飛び出してきたため、推進機械とエレメントの間に頭部を挟まれた。	30199	7	10 ～ 29
2012	7	8 ～ 9	アスファルト切削機を重機仮置場から工事規制帯内へ搬入するため約50mほど自走させ、交差点で左折させようとした際、側方の歩道にある電柱脇に立っていた被災者を左前輪で轢いた。	30106	7	10 ～ 29
2012	1	11 ～ 12	家屋解体工事現場において、バケットをグラブルに変えた油圧ショベルを移動させるため、高さ約3mのがれきの山（角度約20度）を走行しながら旋回していたところ、約4m走行したところで転倒し、付近で他作業をしていた被災者の頭部にアーム部分が激突した。	30202	6	1～ 9
2012	2	8 ～ 9	不具合が生じたハンドガイド式除雪機を修理するため、修理を依頼する整備工場に持ち込んで同工場内を後進で運転していたところ、後方にあったダンプトラックとの間に挟まれた。	30199	7	10 ～ 29
2012	11	15 ～ 16	被災者と同僚の2名で重機による盛土作業終了後、同僚は盛土から下りた。被災者も同様に一旦下りたが、盛土に重機走行跡が付いていたため、盛土の頂上に向けてバケットを上げた状態で再度上昇したところ、姿勢を崩した重機が後転し、被災者は車外に投げ出され、その上に重機が落下した。	10909	1	1～ 9
2012	2	16 ～ 17	低層棟東面3階部の壁を解体するため圧砕機（油圧ショベルのバケットを外し圧砕機を装着したもの）で柱上部を挟み、壁を内側に倒そうとしたところ、圧砕機が柱から外れた反動で3階壁及床の一部が外側に倒れた際、解体した足場を片付けるため2階床にいた被災者が倒れてきた壁に下半身を挟まれ死亡した。また、当該壁等が外側に倒れた足場が倒壊した際、足場解体作業を行うため外部足場上で待機していた労働者が墜落して負傷した。	30209	5	1～ 9
2012	9	16 ～ 17	スクラップを積んだ20 t 積みトレーラーを運転して埠頭の荷捌き場に出向き、荷役を行う業者に荷降ろしを委ねたところ、荷台上にいてグラブルのアタッチメント部分に激突された。なお、荷台のあおりの高さは2mありグラブルの運転席から荷台上の被災者は見えない。	40301	6	10 ～ 29
2012	2	11 ～ 12	被災者はロータリ除雪車を用いて道路除排雪作業を行っていた際、オーガの回転が止まったため修理を行い、オーガ近くで回転を確認していたところ、同除雪車の運転者が被災者の位置を確認することなくオーガの操作スイッチを押してオーガを回転させたため、回転したオーガに巻き込まれオーガと路面に挟まれた。	30199	7	1～ 9
2012	2	14 ～ 15	避難場所整備工事において、斜面での伐採木集材作業中、Y字型の木の一方の端にワイヤーを取り付け、バケットをアイアンホークに変えたバックホウで引っ張り、斜面に対し縦に引きずってきたところ、Y字のもう一端が地面に引っかかり、木が横に向いたため、少し離れていたところで合図を送っていた被災者に激突した。	30109	6	1～ 9
		15				

2012	7	16	被災者はハンドガイド式草刈機（クローラ走行タイプ）に乗車操縦し、堤防道路から川側法面に行こうとしていたところ、草刈機が転倒して被災者ととも堤防下に転落し、草刈機の下敷きになった。	60101	2	1～9
2012	2	14～15	被災者はグラップル（車両本体：クローラ式油圧ショベル）を使用して伐採した木材を搬出作業中、当該グラップルの左キャタピラに轢かれた。	60209	7	1～9
2012	6	15～16	橋梁のかさ上げ工事を行うため、被災者はウォータージェット機を用いて鉄筋コンクリート橋脚のハツリ作業を行っていたところ、何らかの拍子で左大腿部に超高压水を直射してしまい、受傷した。	30105	8	30～49
2012	11	13～14	家屋解体工事において、建設機械（ドラグ・ショベルのバケットにアタッチメントのつかみ材を取付）を用い、解体した家屋の木材柱（長さ約2m、重量約10kg）を挟んで旋回したところ、他の木材の柱等を手作業でトラックに積込んでいた被災者の頭部に当該木材が激突した。	30209	6	1～9
2012	3	10～11	キャタピラ式グラップル（車両系建設機械には非該当）にて、伐木の仕分け作業中に横転し、運転していた被災者は、損壊したキャビンに胸部を圧迫されて死亡した。	20209	2	10～29
2012	10	13～14	下水道建設工事で泥濃式推進工法で下水管を敷設中、推進機内の排泥口から突然土石と水が噴出したため推進機内で作業を行っていた2名が土石に埋もれ、水は立坑にまで達した。救出作業を行なったが水の流入が止まらず難航し、被災した2名が水死した。	30102	10	1～9
2012	10	13～14	下水道建設工事で泥濃式推進工法で下水管を敷設中、推進機内の排泥口から突然土石と水が噴出したため推進機内で作業を行っていた2名が土石に埋もれ、水は立坑にまで達した。救出作業を行なったが水の流入が止まらず難航し、被災した3名が水死した。	30102	10	1～9
2013	9	16～17	住宅建設工事において、被災者（2次下請）がランマを使用し駐車場の転圧作業を、1次下請の労働者が車両系建設機械を使用し出入口スロープの砂利敷均し作業をそれぞれ行っていた。車両系建設機械が旋回した際、被災者がバケットをよけようとして転倒した。その際ランマのハンドルが腹部に当たった。	30201	2	1～9
2013	3	14～15	被災者は、座りながらスクラップ金属の選別作業を行っていたところ、後方を通過した重機（ドラグショベルの先端にハサミ型の解体用アタッチメントを取り付けたもの）と接触し、両下肢を履帯（クローラ一部）に巻き込まれた。	80109	7	1～9
2013	5	8～9	鉄骨造2階建築物の解体工事現場で、コンクリート圧砕具を重機のアームの先に取り付け、建設廃材の入ったフレキシブルコンテナをつまみ上げながら4tトラックのコンテナに移す作業を行っていたところ、圧砕機を固定する2本の金属棒のうち1本が外れ、圧砕機が振り子状に振れたため、コンテナ内で補助作業を行っていた被災者の頭部に激突し、被災者はコンテナから高さ1.2mの地面（コンクリート）に墜落した。	30209	6	50～99
2013	8	14～15	舗装工事現場に向かう途中において発生した交通事故（単独）。被災者は、市道の舗装に使用するアスファルトフィニッシャーを運転し、仮置場から当該工事現場までの市道を走行していた。登り勾配8度の箇所に差し掛かったところで速度が低下してきたことから、ギアを高速側から低速側に切替えようとしたが、ギアが入らず中立状態となり、約20m後退して民家の土蔵に衝突し、当該機械と土蔵の壁に腹部から下を挟まれた。	30106	17	10～29
2013	4	7～8	木造家屋の解体工事現場において、解体用つかみ機を使い、ダンプからバックホウのバケットを降ろす作業を行っていたところ、運転者の作業服がレバーにかかり、不意に機械が旋回してしまい、ダンプの荷台で補助作業をしていた被災者の腹部に当たった。	30202	6	1～9
		0	夜間舗装作業工事において、路面切削作業中、切削後の清掃を行うための道路スーパーが後退した際、後方で交通			30

2013	9	1	誘導していた誘導員を轢いた。	170201	6	49
2013	2	9 ～ 10	スクラップ回収のため、トラックを運転して鉄筋コンクリート造建築物解体工事現場へ赴き、トラックから降りて鉄筋くずを拾い集めていた被災者は、重機の履帯に巻き込まれた。	150102	7	10 ～ 29
2013	3	11 ～ 12	屋内運動場の新築工事現場において、1階の床をコンクリートポンプ車を使用して打設していたところ、ブームの根本の旋回体を固定しているボルトが多数破断し、水平方向に伸ばしていたブームが足場上に倒れた。これにより、ブーム先端付近でブームの操作を行っていた作業員1名が死亡した。	30309	6	10 ～ 29
2014	9	8 ～ 9	被災者は、土間部に打設されたコンクリートの仕上げ作業中、コンクリートポンプ車のブームの下を通行したところ、ポンプ車のブームが根元付近で折損し、ブームが地上から落下。ブームの先端付近の下敷きになった。	30201	4	10 ～ 29
2014	7	16 ～ 17	機材の片付け作業中、被災者が、工事用車両の荷台に積んでいた自走式エンジンカッターと、工事用車両の油圧昇降式積込床の間に挟まれた状態で発見された。	30111	7	10 ～ 29
2014	1	10 ～ 11	ロータリー除雪車を使用して、運転者と補助をする被災者の2人で除雪作業中、除雪車運転席側サイドミラーの位置を直すため、運転者は除雪車のエンジンを停止させず、ロータリー部を回転させたまま停車させた後、運転席を離れ、車内に戻り運転席に座ろうとした際、座席脇の走行レバーに触れてしまい、除雪車が自動前進を始め、車外に出ている被災者がロータリーに巻き込まれた。	30199	7	10 ～ 29
2015	10	0 ～ 1	ガソリンスタンド跡地の土壌浄化工事において、土質改良機（掘削した油分を含む土砂と石灰を攪拌、混合して、土砂に含まれる油分を石灰に吸着・包含して土壌を改良する機械）の土砂ホッパー上にいた被災者が、ホッパー上から降りよう指示されたため、ホッパー内を移動する際、ホッパーに取付けられたベルトコンベアー上に墜落又は乗った際にバランスを崩し転倒したため、全身を攪拌機内に運ばれ、巻き込まれ死亡したものの。	30109	7	1～ 9
2015	12	11 ～ 12	レンタルから帰って来た鉄板を高圧洗浄機で洗浄する作業中、被災者が鉄板と地面との間に挟まれ死亡したものの。被災者はマグネットアタッチメントの付いたドラグショベルで、マグネットにより置かれていた鉄板を引き上げた後、洗浄しようと運転席から降りて立てていた鉄板のところへ行ったら、鉄板が倒れたものと推定される。	80409	4	1～ 9
2015	8	16 ～ 17	下水道管布設工事現場で発進立坑内において、作業を行っていた労働者が横穴掘削推進機のスクリー（直径φ150）に上半身の一部を巻き込まれているところを発見された。	30110	7	10 ～ 29
2015	4	20 ～ 21	道路舗装工事において、路面切削機の作業開始前点検中、油圧ホースから油漏れが確認されたため、ベルトコンベアー部分を垂直に立てた状態で、運転手2名が油圧ホースの交換作業を行っていたところ、ベルトコンベアー部分が機体側へ倒れ、1名は逃げたものの、被災者が機体との間に挟まれ被災したものの。なお、被災者は意識不明のまま病院で治療を受けていたが、死亡したものの。	30106	7	10 ～ 29
2015	8	13 ～ 14	一般国道沿岸道路の4車線供用のため舗装工事において、片側2車線のうち1車線を工事規制して、旧アスファルト面路の切削作業の初日に、施工範囲が見通しの悪い緩いカーブに差し掛かったため、工事用ダンプトラックの工事規制内出入り誘導に就いていた2名のうち一般車走行車両の減速誘導に従事していた1名が、後退する路面清掃車の後方に誘導位置を変更して減速誘導中時速8km程度で後退する路面清掃車に轢かれた。	170201	6	100 ～ 299
2016	12	10 ～	切羽側にスライドセントルを移動させる際、上部に設置されている引抜きパイプレーター架台（以下架台という）がシート台車に当たり邪魔になったので、架台を前方にスライドさせるため、架台前部とセントル本体の間に入りチルホールを掛け、レバー操作で巻き上げを行うことにより架台を前方にスライドさせていたところ、架台がリンクの釣	30102	7	1～ 9

		11	り合い点を超えたため一気にスライドし、架台とセントル本体の間に頭部を挟まれた。			
2016	10	11 ～ 12	調査ボーリング工事において、ボーリング調査に使用していたスキッド型ボーリングマシンのシリンダー部チェックバルブから油漏れが発生したため、被災者1人で修理をしていたところ、ガイドセルが降下し、ガイドセルとベース架台の間に頭部と右肩部を挟まれた。	30101	7	30 ～ 49
2016	2	9 ～ 10	トンネル工事において、覆工コンクリートの打設に先立ち、コンクリート圧送配管に先送りモルタルを送ったところ、配管が閉塞したため、閉塞を解消後、コンクリート打設を開始したところ、何らかの原因により配管からコンクリートが飛び出し顔面に当たった。	30102	4	1～ 9
2016	1	17 ～ 18	工場の新築工事現場で警備の業務を行っていた被災者が、圧送作業を終えたコンクリートポンプ車（長さ7.43メートル、幅2.24メートル。以下ポンプ車）の交通誘導時にポンプ車に激突された。	170201	17	50 ～ 99
2017	12	4 ～ 5	ロータリー除雪車で同僚労働者（運転手）と被災者（補助）の2名で作業を行っていたが、ロータリーに雪が詰まってオーガが正常に回転しなくなったため、オーガの回転を停止させ、2名でスコップを用いて詰まった雪を除去した後同僚労働者が運転席に戻り、除雪車を1mほどバックさせ、被災者が前方に退避していることを確認して、オーガが正常に回転するか確認のため回転させていたところ、被災者がオーガに巻き込まれた。	30199	7	10 ～ 29
2017	10	16 ～ 17	洗車場でロータリー除雪車を清掃中、回転していたオーガにホースが絡まった影響で被災者もオーガに巻き込まれた。	11701	7	1～ 9
2017	9	12 ～ 13	コンクリートポンプ車（油圧4段屈折式ブーム）を用いて、2階建て建物の屋上部分にコンクリート打設していたところ、コンクリートポンプ車のブームの油圧装置の金属パイプが破損し、油圧装置のオイルが抜けてブームが落下した。この時、屋上でホースの先端を保持していた被災者が落下したブームに激突された。	30201	6	1～ 9
2017	7	12 ～ 13	河川護岸上で、被災者が、重機を用いて河川内の川藻の水揚げ作業をしていたところ、後退すべきところを前進し、護岸上から重機ごと河川内に転落し、溺死した。	30309	1	1～ 9
2017	1	8 ～ 9	被災者は、道路横の歩道部の除雪作業において、歩行型ロータリー除雪機を運転して除雪作業を行っていた。途中、当該除雪機の運転を同僚と交替し、交替した同僚が、100メートルほど除雪機を進めたところで異音が生じたので、エンジンを止めて前部を確認したところ、被災者が、歩行型除雪機のロータリー部分に巻き込まれていた。	30106	7	30 ～ 49
2018	11	14 ～ 15	鉛山鉱山通洞坑ズリたい積場耐震対策工事現場において、被災者は同僚と共に深礎杭を設置するためコンクリートポンプ車を用いコンクリート打設作業に従事。その後、当該作業を終えたため、同僚が当該車両のアウトリガーを格納し、被災者は当該車両後方において待機していたところ、当該車両が逸走し、被災者は当該車両とともに傍らの沢（深さ約3m）に転落。その際、なぎ倒された木とアウトリガーとの間に胸部をはさまれたもの。	30199	6	10 ～ 29
2018	3	18 ～ 19	自動車メーカーの敷地内において、労働者がコンクリートポンプ車のホッパー内の清掃作業中、攪拌機に巻き込まれたもの。	30201	7	1～ 9
2018	2	10 ～ 11	「舗装道修繕工事現場」において、道路ほ装工事のため路面切削機により切削されたほ装道の状況を屈んで接写撮影していたところ、路面切削を終えた個所の清掃作業のため後退してきた路面清掃機「スイーパー」の右後輪にひかれ、「外傷性心破裂」により死亡したものである。	30106	7	50 ～ 99
2018	1	8	鉄骨造平屋建ガラス温室新営工事において、農用自走式高所作業台の収納式架台（高さ2.38m）で、屋根のアルミ軒樋とアルミ垂木を固定するボルト締め作業を行っていた被災者が、収納式架台上を移動し、安全帯の掛け替えを	30209	1	1～ 9

	9	行おうとしたところ、足を滑らせて地上に墜落した。			
2018	1 10 ~ 11	12. 2tのあおりのない平ボディトラックの荷台からロータリー除雪車を荷卸しする作業中、同僚労働者が除雪車を運転し、被災者の誘導によって前進で荷台後方端部まで移動させ、ブレーキを踏んで停車し、その後被災者が荷台から地上への道板を設置していたところ、何らかの原因で除雪車が前方に動いてそのまま道板上を滑り落ちるような状況になり、除雪車前方で作業中の被災者が除雪車の除雪装置と地面との間に挟まれた。	11701	6	30 ~ 49
2019	9 ~ 10	8 鉄塔の基礎にコンクリートを打設するため、ドラグショベルのアタッチメントに自動生コンホッパーを取り付けて作業を行っていたところ、法肩が崩れドラグショベルが転倒して、その際にドラグショベルのアタッチメント部分に立会者の被災者が激突され死亡したもの。	30209	6	10 ~ 29
2019	5 16 ~ 18	被災者が、トラックの荷台上の伐木5本（直径34センチから50センチ、長さ2.5メートルから4.1メートル総重量1750kg）を地面に下ろすため、積載型トラッククレーン（つり上げ荷重：2.9トン）を操作し、伐木5本を一度にワイヤーで一本吊りし、1mほど垂直に持ち上げた後、ブームを旋回中、伐木がトラックのあおりを越えた直後に玉掛をしていたワイヤーが切れ伐木が被災者に落下し死亡したもの。	30199	4	1~ 9
2019	3 ~ 8	6 鶏舎の2階と高台に架かる通路橋（傾斜していて、幅約4m×長さ約20m）の下を舗装する工事にて、アスファルトフィニッシャーを運転し、通路橋の下へ後進させたところ、通路橋の横梁（高さ1.5m）とアスファルトフィニッシャーの車体（高さ約1.8m）との間に運転手が上半身を挟まれた。	30109	7	10 ~ 29
2019	3 ~ 14	12 削孔機を使用して法面にアンカーボルトを施工する工事で、被災者と同僚が足場上の削孔機を移動させる作業を行っていたところ、移動中に削孔機が転倒した際に、削孔機が被災者の胸部に激突した。救急車で救命救急センターに搬送されたが後日死亡した。	30199	6	1~ 9
2020	8 ~ 10	8 舗装工事の表層施工作業のうち、ブラシ付き路面清掃車での清掃作業を行うにあたり、路面清掃車の右後方に別の工事車両があったため、いったん路面清掃車を左前方に寄せてから後進させたところ、車両後方にいた被災者を轢いたもの。	30106	7	10 ~ 29
2020	5 ~ 18	16 被災者はトラクターを用いて田のあぜ道を造る作業を終了した後、事業場の倉庫にトラクターを戻すため、道路を走行していたところ、道路路肩からトラクターとともに斜面（高さ2m）を転落し、運転席から投げ出された被災者がトラクターの下敷きとなり死亡したもの。	60101	17	1~ 9
2020	4 10 ~ 12	10 地上8階建ての病院新築現場において、基礎部分のコンクリート打設作業を行っていたところ、生コン打設に使用していたコンクリートポンプ車の第2ブームが折損し、打設場所の均し作業を行っていた被災者にブームが激突した。	30209	6	10 ~ 29
2020	3 ~ 22	20 道路の補修工事現場において、工事で発生したアスファルト屑の清掃を行う路面清掃車が後退を始めたところ、付近で一般車両等の誘導業務を行っていた警備員である被災者を轢き、被災者は路面清掃車の下敷きとなり死亡したものである。	170201	17	50 ~ 99
2020	2 ~ 16	14 汚水管渠埋設工事において、推進工法により到達立坑まで管を貫通させ、管内の土砂を取り除くために管内のスクリュウを回転させていたところ、到達立坑内で管のパッキンの締め直しを行っていた被災者の服が、回転するスクリュウ部分に巻き込まれ、脇腹部圧迫により窒息したもの。	30110	7	1~ 9
2020	1 ~ 10	8 工事現場において、道路の舗装作業中に後退してきた路面切削機と現場の警備員が接触し、警備員が路面切削機の後輪に轢かれて被災、心肺停止状態となり数時間後に死亡したもの。当時、被災者は西側車線から東側車線に移動中であった。	170201	7	50 ~ 99

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html